

平成 20 年 11 月 10 日

各 位

会 社 名 株式会社ホロン
 代表者名 代表取締役社長 穴澤 紀道
 (JASDAQ・コード 7748)
 問合せ先 取締役総務部長 加藤 邦彦
 電 話 03-3341-6431

「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴う棚卸資産評価損の計上
 並びに平成21年3月期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成21年3月期第2四半期会計期間において「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴う棚卸資産評価損を計上いたしますのでお知らせするとともに、平成21年3月期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)の業績予想について、平成20年5月13日付当社「平成20年3月期決算短信(非連結)」にて発表いたしました業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴う棚卸資産評価損の計上

当社は、平成20年4月1日以降開始する事業年度から適用される「棚卸資産の評価に関する会計基準」に基づき棚卸資産の評価を行った結果、当第2四半期において棚卸資産に対する評価減を実施することといたしました。この結果、棚卸評価損を売上原価として307百万円計上します。これに伴い売上総利益、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ減少しております。

2. 平成21年3月期 業績予想の修正

(1) 第2四半期累計期間(平成20年4月1日～平成20年9月30日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
前回予想(A)	370	△16	△16	△17
今回修正(B)	104	△459	△473	△482
増減額(B-A)	△266	△443	△457	△465
増減率	△71.9%	—	—	—

(2) 通期(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想(A)	870	13	14	12
今回修正(B)	870	△264	△278	△287
増減額(B-A)	0	△277	△292	△299
増減率	0.0%	—	—	—

3. 修正理由

(第2四半期累計期間)

当社は、半導体製造プロセスで使用されるマスク上の回路寸法を電子ビームによって測定する装置の開発・製造・販売を主たる業務としております。当社の製品は、装置1台あたりの販売価格が2～3億円と非常に高額であり、計画通りに販売できない場合、業績を不安定にするリスクが顕在しております。当社はこのリスク発生の可能性を認識した上で、発生の回避もしくは発生した場合でも影響を最小限に止めるべく努力をいたしております。

従来、当社は、国内販売店向け売上計上基準は、販売店の検収をもって売上計上としております。このような状況下、当社は当該売上計上基準に基づき、平成20年7月に、収差補正機能を搭載した最新鋭機であるマスク用寸法測定装置「EMU-270A」1台を国内販売店経由で米国内向けに出荷しました。当社は、当初従来どおり、販売店の検収が完了した第2四半期会計期間に売上計上を見込んでおりましたが、エンドユーザーと販売店との販売契約を精査した結果、本契約はエンドユーザーの検収完了をもって販売店への入金される契約となっておりました。当社としては、エンドユーザーの検収が完了しておらず国内販売店への入金が確実でない状況で、当社が売上計上することは適切でない判断し、エンドユーザーの検収が完了し、販売店への入金が確実になった時に売上計上するのが妥当との結論になりました。従って、同装置1台の売上分を、エンドユーザーの検収が完了し販売店への入金が確実となる第3四半期以降に売上として計上する予定です。従いまして、当第2四半期累計期間における売上高につきましては104百万円を見込んでおります。

また、損益につきまして、「棚卸資産の評価に関する会計基準」の適用に伴い、棚卸資産評価損307百万円を計上したため、売上総利益、営業利益、経常利益及び税引前四半期純利益がそれぞれ減少いたします。その結果、営業損失459百万円、経常損失につきましては韓国ウォンの下落による為替差損等14百万円の発生もあり473百万円、当四半期純損失482百万円を見込んでおります。

(通期)

通期の業績予想につきましては、主な販売予定先が国内の大手顧客であり、米国出荷と異なり販売店を経由せず直接エンドユーザーに販売するため、上記のような契約内容によって売上計上時期はずれることはないと考えていることから、売上高870百万円に変更ありませんが、第2四半期累計期間における棚卸資産評価損等の計上を受け、営業損失264百万円、経常損失278百万円、当期純損失287百万円の見込みといたします。

4. 参考：前期の実績（平成19年4月1日～平成20年3月31日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
中間期(19/4～19/9)	106	△181	△180	△386
通期(19/4～20/3)	306	△326	△343	△409

※ 上記業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、実際の業績につきましては、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上